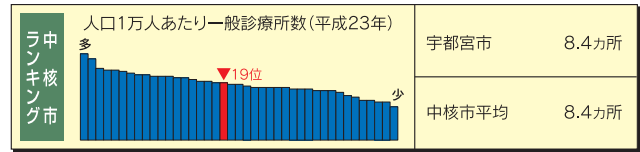


医療



(厚生労働省:「医療施設動態調査」)

一般診療所、歯科診療所、病床総数、 歯科医師数は全国平均を上回る

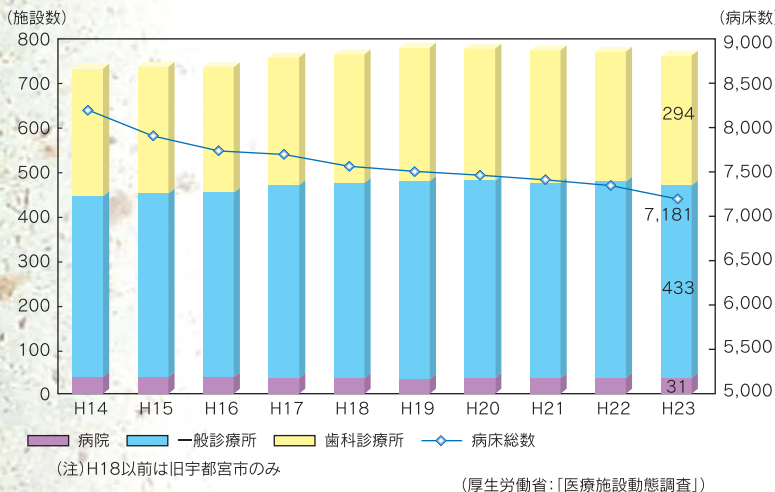
宇都宮市の医療施設は、平成23年10月1日現在、病院31、一般診療所433、歯科診療所294となっています。

総病床数は7,181で人口10万人あたり病床数は1,399となっています。

医療従事者の推移をみると、看護師は増加していますが、医師、薬剤師、歯科医師はほぼ横ばいで推移しています。

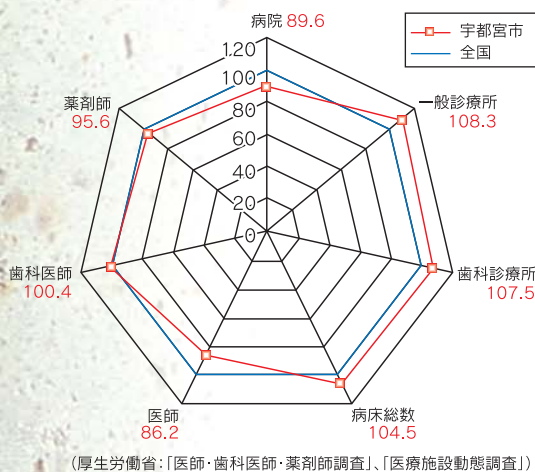
人口10万人あたりの医療体制は、病院、薬剤師、医師が全国を下回っています。

医療施設・病床数の推移(各年10月1日)

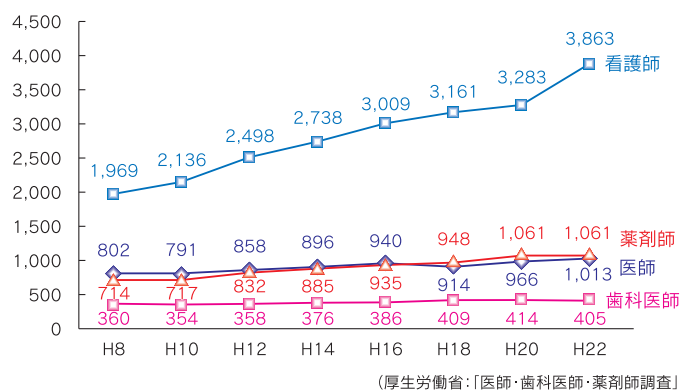


(宇都宮市保健所)

人口10万人あたりの医療体制(全国=100)

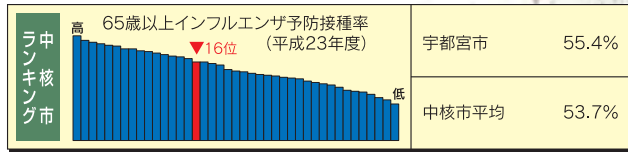


医師・歯科医師・薬剤師・看護師数の推移



(注)医師、歯科医師、薬剤師は、平成22年10月1日現在。
病院、一般診療所、歯科診療所、病床総数は、平成23年10月1日現在。
人口10万人あたりの医療体制は、全国及び宇都宮市の病院数、一般診療所数、歯科診療所数、病床総数、医師数、歯科医師数を、平成23年10月1日の推計人口で割って算出した結果を比較している。

予防接種



(厚生労働省:「地域保健・健康増進事業報告」)

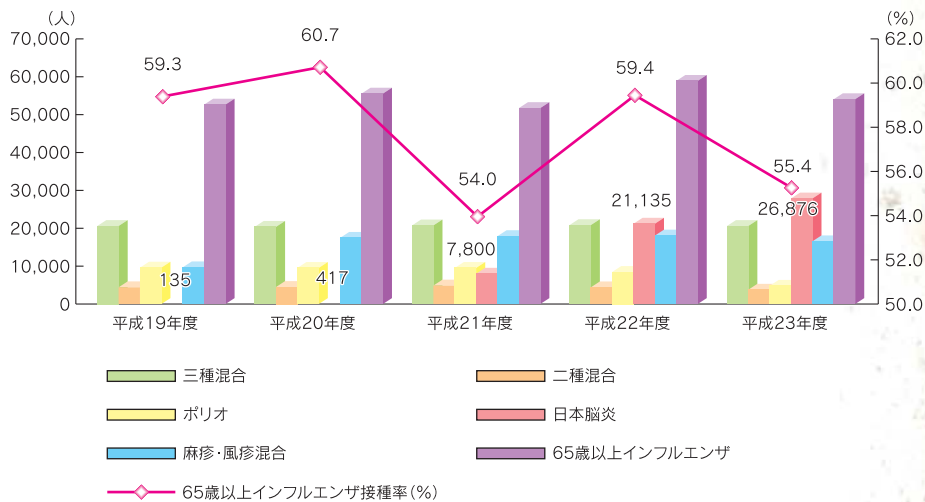
日本脳炎予防接種数が急激に増加

予防接種法による主な予防接種の接種実施状況をみると、平成23年度において三種混合が20,186人、二種混合が4,463人、ポリオが5,480人、日本脳炎が26,876人、風疹・麻疹混合が17,687人、インフルエンザ(65歳以上)が55,815人となっています。

日本脳炎予防接種については、平成22年度から接種数が急激に増加しています。

また、65歳以上人口に対するインフルエンザ接種率は平成23年度において55.4%となっています。

定期予防接種実施状況

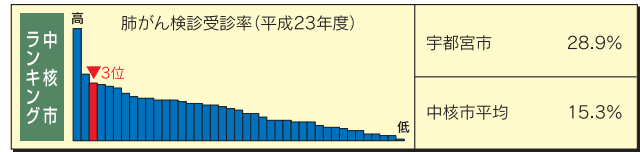


項目/年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
三種混合	20,632	20,354	20,586	20,727	20,186
二種混合	4,474	4,330	4,662	4,350	4,463
ポリオ	9,510	9,517	9,277	8,274	5,480
日本脳炎	135	417	7,800	21,135	26,876
麻疹・風疹混合	9,519	17,302	17,678	17,869	17,687
65歳以上インフルエンザ	52,588	55,545	51,736	58,707	55,815
65歳以上インフルエンザ接種率 (%)	59.3	60.7	54.0	59.4	55.4

(厚生労働省:「地域保健・健康増進事業報告」)

- ・インフルエンザ接種率を算出する65歳以上対象人口は、総務省統計局推計人口(各年10月1日現在)
- ・接種対象者等の詳細については、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」をご覧ください。
(http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/32-19_h22.html)

がん検診



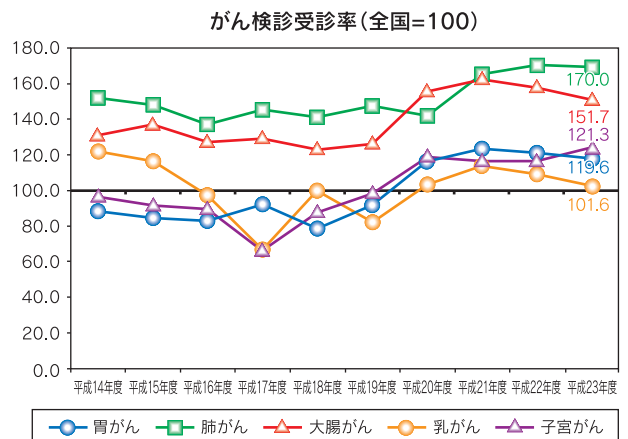
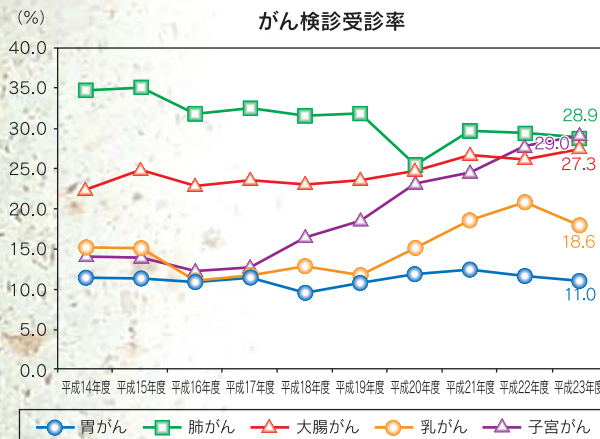
(厚生労働省:「地域保健・健康増進事業報告」)

子宮がん検診の受診率が上昇している

宇都宮市のがん検診受診率を部位別にみていくと、平成23年度において、胃がん検診は11.0%、肺がん検診は28.9%、大腸がん検診は27.3%、乳がん検診は18.6%、子宮がん検診は29.0%となっています。(厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」による受診率)

年別の推移をみると、子宮がん検診の受診率が上昇しましたが、胃がんの受診率が伸び悩んでいます。

全国との比較の推移をみると、平成23年度において、5つの検診すべての受診率が全国平均を上回っています。



(厚生労働省:「地域保健・健康増進事業報告」)

◆「地域保健・健康増進事業報告」によるがん検診の対象

胃がん・肺がん・大腸がん検診は、40歳以上の男女。

子宮がん検診は、平成16年度以降20歳以上の女。受診間隔は2年に一度。

受診率算出のための受診者数は、平成17年度以降「頸部」。

乳がん検診は、平成16年度以降40歳以上の女。受診間隔は2年に一度。

受診率算出のための受診者数は、平成18年度以降「視触診方式およびマンモグラフィ」。

◆がん検診受診率の算出方式

胃がん・肺がん・大腸がん(受診者数/対象者数×100)

子宮がん・乳がんは、平成17年度から下記の算出方法に変更しています。

(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続の受診者数)/当該年度の対象者数×100

◆その他、検診対象者等の詳細情報については、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」をご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/32-19_h22.html)

◆市民協働でがんの予防と早期発見へ ～無料の託児つき子宮がん・乳がん検診～

宇都宮市では、託児の問題により未受診となっていた市民に受診機会を提供することを目的に、平成22年度からボランティアサークルの協力のもと、子育て世代の女性を対象に無料の託児付き子宮がん・乳がん検診を実施しています。市民協働で子育て世代の受診しやすい環境づくりに寄与する取り組みです。

平成22年9月から平成24年10月までに延べ11回実施しており、275人がこのサービスによる子宮がん・乳がん検診を受診しています。受診した方へのアンケート結果(※1)では、託児サービスの有無が子育て世代の女性のがん検診受診に大きく影響していることがわかります。

これからも宇都宮市では、質の高い保健・医療サービスの提供を行うため、さまざまな施策を実施していきます。

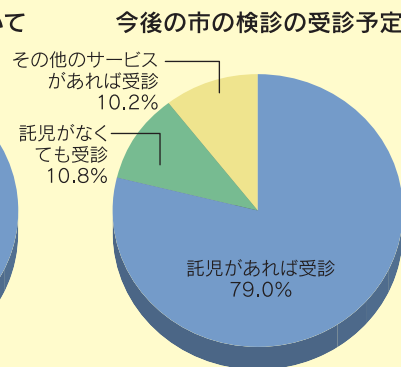
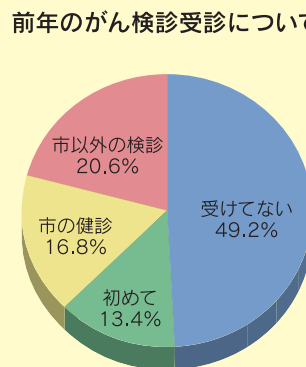
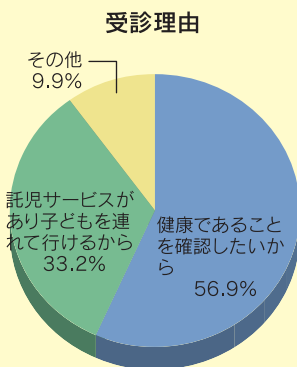
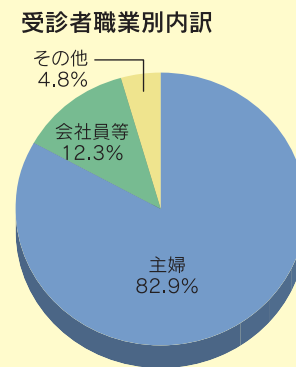
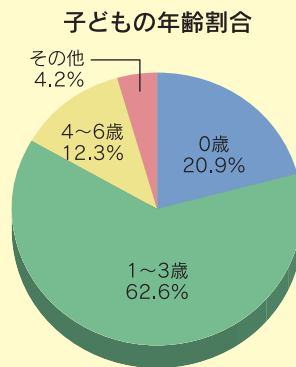
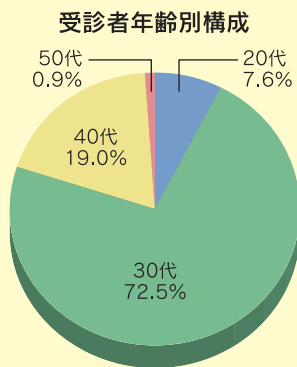


(検診受付)



(検診会場内託児室)

【受診者アンケート結果】



※1 資料:宇都宮市保健所健康増進課
検診受診者275人のうち、211名から回答。